

CONTENTS

- 23 福祉有償運送事業運転者講習会
買い物サロン連絡会、『暮らしの応援カフェ』開催日変更
令和元年度 事業・決済の報告
- 45 よりそい談話室・ホームヘルパー訪問記
デイサービスセンター通信
- 6 我が家のぶち自慢・投稿記事
- 7 みんなで進めよう!『はやしまほっとプラン』
- 8 ふくし活動フォトギャラリー

社協だより

はやしま福祉情報

【基本理念】 **お** たがいが支えあい **あ** んしんして **し** あわせに暮らせる **す** みよい地域をつくります



『ほっとプラン2』 策定作業開始!

住民や福祉団体等による民間福祉活動計画『はやしまほっとプラン』の第2次計画の策定が始まりました。
平成27年度からの5か年計画の方向性を継承しながら、新たに誕生した活動の維持発展、新たな福祉ニーズへの対応策等を立案していきます。[7頁参照]



まちの福祉に あなたの力を!

毎年10月1日からはじまる赤い羽根共同募金運動は、「じぶんの町を、良くするしくみ。」をテーマに展開され、その募金は早島町の福祉を支えるために使われます。
今年はコロナ禍での実施となります。無理のない範囲で、皆様のご協力をお願いいたします。

福祉有償運送事業運転者講習会

実施日時 7月18日(土)～19日(日)

実施場所 オアシス早島

昨年度に引き続き、NPO法人移動ネット岡山と本会の協働で開催された同講習会。今年度は、新型コロナウイルス感染防止措置が取られる中、6月からの施設利用再開後初となる中規模講座となり受講者を限定しましたが、町内外から27名の参加を得ることが出来ました。

本講習は、公共交通機関が自力で利用できない要介護高齢者や障がい者の方等の送迎をタクシー料金の概ね半額で利用できる福祉有償運送事業に従事する運転者の必須講習です。



受講者には、マスク着用や検温、手指消毒の感染予防で協力をいただき、講義中は常時換気、実技は距離を取るなど、いわゆる「3密」を避ける環境づくりに徹しながら講習を運営。暑い中、2日間の講習を乗り越えられ、全受講者が修了証を受け取りました。

町内では3名の方が新たに同事業の運転者資格を得て、今後、本会の福祉有償運送事業等の外出支援活動に参画されます。



わが町の暮らしの応援団買い物サロン連絡会

実施日時 8月21日(金)

実施場所 オアシス早島

応援団員さんや民生委員さん等のお力添えを得ながら、町内各地区で移動販売車による集合販売拠点をつくり、地区単位での買い物支援を行う『買い物サロン活動』。新型コロナウイルス感染拡大の兆しが見え始めた今年2月に6地区で活動を開始し、6月には15地区に拠点が拡大しました。

そこで、既存活動者、11月からの新拠点設置に向け新規希望地区の関係者を交え開催した連絡会には、約40名の関係者が参加されました。



連絡会へは、移動販売車を提供する『移動スーパーとくし丸』本部の皆様も参加。同社の買い物難民解消を目的とした社会貢献事業の主旨説明や、応援団事務局から買い物サロン活動の意義の説明があり、活動主旨や現状を情報共有し、新拠点設置に伴う全体の時間割の調整が行われました。

また、連絡会後には、「生活支援活動」のPRを兼ね買い物サロンで配布するエコバックの版入れ作業を実施。買い物を通じた地区単位による住民主体の支援活動が活発になってきました。



わが町の

『暮らしの応援カフェ』開催日変更

開催日

10月9日(金)、12月10日(木)、2月10日(水) 13時30分から15時30分頃まで
※奇数月が開催自粛となりました。

お問い合わせ

早島町社会福祉協議会(事務局 ☎482-3000)



令和元年度 事業・決算の報告

「はやしまほっとプラン」が5年目を迎え、第2次計画策定に向けて評価作業を行いました。また、社会福祉法人連絡協議会『ほっとけんネット早島』を11月に設立し、町民に向けて各法人の社会資源の紹介をしました。その他に実施した事業を含めご報告いたします。

収入合計 **184,408,898円**

寄附金・会費収入 (A)
(0.2%)
308,642円

共同募金配分金収入 (A)
(1.1%)
2,114,095円

介護保険事業及び障害福祉サービス等事業収入 (A)
(70.3%)
129,611,928円

運用資金・退職積立取崩及びその他の収入 (A)
(5.0%)
9,306,488円

補助金・受託金収入 (B)
(23.4%)
43,067,745円

自主財源による事業 (A)
144,089,431円 (76.9%)

補助金受託金による事業 (B)
43,388,113円 (23.1%)

支出合計 **187,477,544円**

資金収支差額 **▲3,068,646円**

介護保険事業 (A)

- 居宅介護支援事業の実施
(介護計画延べ作成数: 要介護2,241件、要支援513件)
- 通所介護事業の実施 (延べ利用者数7,558名)
- 訪問介護事業の実施 (延べ訪問回数5,337回)
- 介護予防・日常生活支援総合事業の実施
(通所・延べ利用者数466名、訪問・延べ訪問回数1,529回)
- 障害者総合支援事業の実施 (延べ訪問回数1,149回)
- 職員人件費 (常勤換算: 事務局1.5名、介護保険22.5名)

地域福祉事業

- 地域福祉活動計画評価委員会の開催 (3回)
- 生活支援活動の検討・実施
(暮らしの応援団活動・定期278件、不定期25件、買い物サロン59回、応援カフェ11回)
- 外出支援活動の検討・実施
(検討会12回、福祉有償運行130回、サロン等送迎188回)
- 社協だよりの発行 (年4回)
- 福祉活動員活動の支援
(研修会2回、定例会7回、地域活動)
- コミュニケーション麻雀の普及推進 (定例会・延べ参加者数399名、町内5団体・延べ参加者数102名など)
- 自治会単位の地区福祉活動支援 (4地区)
- ふれあいいきいきサロン活動の推進
(24団体、延べ参加者数4,409名、連絡会1回)
- 年末大掃除おたすけサービスの実施
(利用29世帯、協力者数41名)
- 福祉映画会の開催 (観客数416名)
- 福祉ボランティア・当事者活動の支援 (7団体)
- 福祉教育・啓発の推進 (早島小車イス体験教室・体験者数154名、夏のボランティア体験・体験者数217名など)
- 福祉用具貸出サービスの実施 (144件)

法人運営事業 (B)

- 理事会 (役員会) の開催 (年6回)
- 評議員会の開催 (年4回)
- 評議員選任・解任委員会の開催 (年3回)
- 職員人件費 (常勤換算 事務局3.5名)

職員出向事業

- 地域包括支援センターへの職員出向 (1名)

地域福祉事業

- 町内社会福祉法人連絡協議会設立準備会の開催 (年3回)
- 町内社会福祉法人連絡協議会の開催
(設立11月、総会1回、幹事会1回)
- 地域福祉活動計画の推進
(新規サロン立上げ1地区、買い物サロン立上げ9地区など)
- 高齢者給食サービス活動の推進
(8団体、延べ利用者数2,098名)
- 福祉ボランティア・当事者活動の支援
(4団体)
- ボランティア活動に関する相談・調整
(調整件数578件)
- 地域福祉センターの運営管理
(貸出435回・延べ利用者数5,930名)
- 館具・用具の貸出 (61件)
- 生活福祉資金の貸付 (相談4件、償還1件)
- 日常生活自立支援事業の実施
(相談1件、新規契約1件、継続4件、援助回数94回)



福祉有償運送事業のご案内

サービス内容

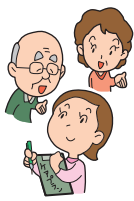
「高齢」や「障がい」により通常の公共交通機関では移動が困難な方を対象に、有償(タクシー料金の概ね半額)で外出支援を行っています。ご自宅から目的地までの移動を「福祉車両」により送迎いたします。ぜひご利用ください。

利用できる日

月曜日から金曜日の9時から17時まで
要予約(利用希望日の3日前まで)

お問合せ・利用申込先

早島町社会福祉協議会 ☎482-3000



ケアマネジャーの

よりそい談話室



私たちケアマネジャーは、在宅で介護認定を受けて生活している方が住み慣れた地域で生活していくためのお手伝いをしています。

日々の習慣を見直し、心身ともに健康な状態で過ごすことが出来るよう、今年度は介護予防に役立つ情報をお伝えしていきます。

第33回 「栄養足りていますか？」

自粛生活で家にいる時間が長くなると、生活のリズムが乱れ、食欲が落ちて食べる量が減ったり、同じものばかり食べて栄養が偏ったりしていませんか？

中年期では太り過ぎに注意することが必要ですが、高齢期では、食べ過ぎを心配するよりも、「低栄養」による痩せ過ぎを防ぐことが重要になります。

毎日の食生活を見直し、フレイル予防をしましょう。



～自分の食習慣をチェック～

ほとんど毎日摂る場合：1点 それ以下：0点

| | | | | |
|----------|---------------|----------|----|---|
| ①肉 | 点 | ⑥緑黄色野菜 | 点 | |
| ②魚介類 | 点 | ⑦海藻類 | 点 | |
| ③卵 | 点 | ⑧いも | 点 | |
| ④大豆・大豆製品 | 点 | ⑨果物 | 点 | |
| ⑤牛乳・乳製品 | 点 | ⑩油を使った料理 | 点 | |
| 目標 | 7点以上を目指しましょう。 | | 合計 | 点 |

*出典：東京都健康長寿医療センター

ケアマネジャーのひと言アドバイス

栄養はきちんと食事からとることが大切です。一日三食ストレスなく食事を楽しみましょう。

●バランスよく食べましょう！

主食・主菜・副菜をそろえたメニューを意識してください。バランスよく食べて、身体の調子を整えましょう。

●たんぱく質をしっかりととりましょう！

高齢期はたんぱく質が不足しがちです。特に肉・魚・卵・牛乳などの食品からしっかりととることが大事です。

●おいしく、楽しく食事をしましょう！

食べることは、心の栄養にもなります。献立や調理を工夫し、「食を楽しむ」時間を作りましょう。



介護用具紹介【衛生用具】

・退院した後トイレまでの移動が不安。
・注文したけど届くまでどうしよう。



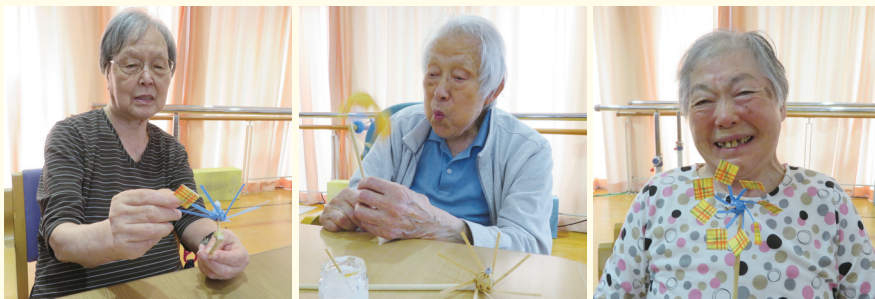
ポータブルトイレ
無料貸出しています。
(※1週間程度)



●介護やサービスに関するご相談は、早島町居宅介護支援センター（☎086-482-3516）まで

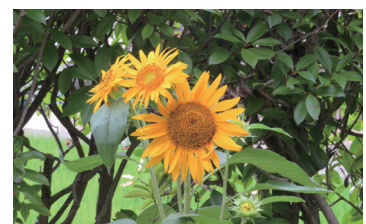
風ぐるまをつくりました ～懐かしい遊び～

ボランティアでお世話になっている町内の方から、竹で作られた風ぐるまの骨組みをいただきました。思い思いの千代紙で羽を付けたら完成。ふ～と息を吹きかけてクルクル回る様子を見ると目も輝き、子供のような笑顔になります。「懐かしいなあ」「私のもいいように出来たわ」と、完成した風ぐるまを互に見せ合って、楽しいひと時でした。



～夏真っ盛り～

ボランティアさんが大事に育ててくれたひまわりがデイサービスの畑にたくさん咲きました。利用者さん達も、「きれいじゃなあ」「元気になるなあ」と喜ばれています。





ホームヘルパー訪問記

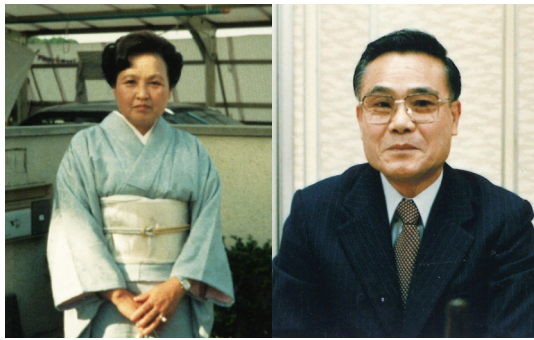
このコーナーでは、私たち早島町ホームヘルパーステーションが、訪問しているご利用者の方とのやりとりや生活から、ホームヘルパーの気づきをお伝えしていきます。

2020-10-1 | 「戦後の苦しい時代を支え合いながら生きてきました。」

今回は田中十一様加與様ご夫婦をご紹介します。十一さん98歳、加與さん97歳で、現在近隣の施設で生活されています。お二人は昭和18年に岡山の陸軍病院で十一さんは衛生兵として、加與さんは看護婦として勤めていた時に出会っていたのですが、昭和20年終戦とともにそれぞれ違うところで仕事に就きその後、運命かのように偶然に津山で再会し、昭和21年に結婚されました。津山から岡山にそして早島に家を建て、ご高齢になった今は施設でのんびり過ごされています。



(施設でのお二人)



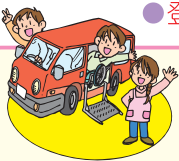
戦後の苦しい時代にお互い支え合いながら、また周りの人に助けられながら必死に生きてこられたそうです。「いろいろあったなあ」と昔の写真を見ながら感慨深げでした。お二人は今もよく喧嘩をされるそうです。凄いいいと思いませんか? 喧嘩するほど…ですよね。私たちは毎週1回家事援助で訪問しお二人の様子を見させていただいています。二人で100歳を元気に迎えられる日を今から楽しみにしています。

ヘルパー研修録

感染症の感染経路や仕組み、食中毒の種類などの基礎知識を勉強し、訪問先での注意事項を再確認しました。また、新型コロナウイルスについても感染拡大防止のため、ヘルパーとしての対策と利用者に協力してもらうことなどについて考えました。



●登録ヘルパー募集中! お問合せは、早島町ホームヘルパーステーション (☎086-482-3518) まで



デイサービスセンター 通信

祝百寿 おめでとうございます!

7月12日に百歳を迎えられた溝手トシエさん。長生きの秘訣をお聞きすると「好き嫌がなく何でも食べる事!」と力強く笑顔で教えてくださいました。言葉のとおりデイサービスでもおかずは完食。

次の目標は101歳! これからも、元気で、いっぱい笑って下さいね。



感謝状と記念品



おばあちゃんおめでとう



家族で記念撮影



溝手トシエ様 (頓行)

I love ファゴット!



苦楽を共にした
自慢の楽器です

投稿者
事務局
写真
黒瀬 智也さん
(勤務年数1年6か月)

うらじゃ! だいすき



家族で楽しんでいます

投稿者
デイサービスセンター
写真
右から
山本 一人さん
(勤務年数9年6か月)
山本 明奈さん
山本 心結奈さん

年男コンビ

ちゅ〜堅職員に
なりました



投稿者
居宅介護支援センター
写真
左から
小川 貴史さん
(勤務年数6年7か月)
藤原 和彦さん
(勤務年数6年11か月)

投稿者
ホームヘルプステーション
写真
右から
小池 好子さん
(勤務年数20年6か月)
茂呂 敬子さん
(勤務年数14年11か月)
寺地 広子さん
(勤務年数19年1か月)

ベテラン輝く職場



いつまでも背中を
追い続けます

ぶち自慢 写真大募集!!

皆さんからのほほえましい写真をお待ちしています!!

- ご家族(夫婦・親子・かわいい孫やひ孫さん・)との写真
- 大切な仲間との写真
- 自慢のペットとの写真
- 何かで受賞した時(賞状やメダル、トロフィー...)の写真
- 力作品(丹精を込めたお庭や植木・花・野菜...)と一緒にの写真
- 手工芸や絵などの創作品と一緒にの写真など・

大切な
家族!



〈お問合せ・お申込み先〉
早島町社会福祉協議会 ☎482-3000
E-mail: fukushi@hayashima-shakyo.jp

おたより



給食ボランティア、「スマイル若宮」の活動は、今から25年前の6月に始まりました。来られる方が食事をしてにこやかになってもらい、料理を作る私達もにこやかに。にこやかに笑う波が活動を通して広がって、若宮全体が活気づいてくるようお願いを込めて、当時、「スマイル若宮」と名付けたことを覚えています。

食事は大切です。病気を防ぎ、健康寿命を延ばすことになりました。また、私もですが、皆さん、この活動で平素会えない人と会えることが嬉しいと感じていただけているようです。みんなであつと、食べて、笑って、血液の循環がよくなって、ひと時ほつとする。体にいいことだと思います。

退職するまで、私は病院で患者さんの栄養管理に関わる仕事をしてきました。栄養の取り方は患者さんによって様々でしたが、食べることは人間の尊厳に関わる重要なことだと思います。仕事内容は、給食ボランティアの活動に活かせるものも多く、この経験があったからこそ、給食ボランティア活動を続けられたのかもしれない。過ぎてみれば楽しい時間でした。地域のみんなに良くしていただき、一緒にいろんなことができたのはとてもありがたいことです。今後とも、社会福祉協議会のご指導のもとに、この活動を進めて参りたいと思います。

この度、ボランティアの代表を引退して顧問となりました。これからは食事をいただきに行かせてもらいます。お時間をいただければ、食事療法について少しお話しさせてもらえたらと考えています。

スマイル若宮 顧問

木村 和子





昨年度、評価作業を終えた平成27年度から5カ年の民間福祉活動計画の羅針盤『はやしまほっとプラン』。今年度は、いよいよ2次計画づくりに着手しました。今号は、7月に開催された第1回策定委員会の様子と、今後の作業スケジュールをご紹介します。

第1回策定委員会の様子

令和2年7月20日(月)、オアシス早島で『ほっとプラン2』の第1回策定委員会が開催。昨年度実施した評価委員会の委員に加え、新たに4機関・団体をお迎えし、20名の策定委員と2名の顧問へ本会会長から委嘱状が手渡されました。

この日は、昨年度の評価委員会に引き続き、岡山県立大学の岩満賢次准教授が策定委員長に、加藤和子福祉活動員協議会会長が副委員長に選出され、議事が進行。冒頭に改めて岩満委員長から「地



域福祉活動計画の意義」を、事務局から「ほっとプランの進捗状況と課題」の説明があった後、今後の策定の進め方の協議を行いました。

新型コロナウイルスの感染再拡大が続く状況下で、住民の皆さんの生の声をお聴きするうえで大事な「住民福祉座談会」の開催が困難な場合に向け、シートによる住民調査の代替案が浮上。同プランの改定作業はもちろん、福祉活動自体も新たな形を模索する必要があります。



今後の策定作業スケジュール

現在、町内の福祉活動者向けと専門職向けのヒアリング調査を行っています。

また、現在、第2回策定委員会を书面決議で行っており、第1回で意見のあった「住民福祉座談会」に替え、下記のとおり「住民アンケート調査」実施予定で、改定作業にあたって、広く住民の皆様のご意見を募っていますので、調査活動へのご協力をよろしくお願いします。

●住民アンケート調査 令和2年10月実施予定

| | |
|--------------|-----------------------|
| ■実施期間 | 令和2年10月1日(木)～14日(水) |
| ■調査方法 | 郵送調査(郵送による回答) |
| ■対象者 | 20歳以上の町民1,000名(無作為抽出) |

●福祉活動者向けヒアリング調査 令和2年8月実施

| | 依頼区分 | 依頼先 | 依頼数 |
|---|--------------|-----------------------|------|
| A | 地域福祉関係団体 | 民生・愛育・ 栄養委員、福祉活動員 | 4団体 |
| B | 福祉ボランティアグループ | 朗読・パソコン・ 絵手紙・運転等 | 9団体 |
| C | 地区福祉活動グループ | 給食サービス・ サロン | 32団体 |
| D | 福祉当事者組織 | 独居・各種障がい・ 単位老人クラブ等 | 7団体 |
| E | 福祉関係団体 | NPO・シルバー人材 センター | 2団体 |
| F | 地縁組織 | 自治会長・ 自主防災会長 | 28地区 |

●福祉機関・施設ヒアリング調査 令和2年8月実施

| | 依頼区分 | 依頼先 | 依頼数 |
|---|--------|---------------------|-------|
| G | 福祉施設 | 児童・障がい・ 介護施設・事業所 | 20事業所 |
| H | 福祉関係機関 | 町役場関係課・ 支援学校 | 7機関 |
| I | 医療関係機関 | 総合病院・診療所・ 薬局 | 7機関 |

ご厚志ありがとうございました

(令和2年3月1日から8月31日までにお寄せいただいたご寄附)

香典返し寄附

塩地 光畑 正則様(故 浅沼ミチ子様)

一般寄附

早島要約筆記サークル'ぺんしる'様
木村 和子様

※その他、匿名希望で一般寄附が1件ありました。

ふくしま活動フォトギャラリー



木の実会夏祭り

乳幼児とその保護者の親子サークルです。コロナ禍で催しや外出先が限られる中、この日は子供達の為に、ささやかな夏祭りを開催しました。親子の絆を深め、新たな仲間づくりを目指しています。楽しい時間をみんなと一緒にすごしませんか。入会をお待ちしています。(R2.7.16/中央公民館)



早島小学校4年生車イス体験

早島小学校から依頼があり、4年生を対象に開催。車イスの操作や介助の体験を通して、相手とコミュニケーションすることの大切さを実感してもらいました。困っている方を支えるには、その方を理解する姿勢が重要です。この体験がその一助になればと思います。(R2.7.16/早島小学校体育館)



外出支援活動検討会

福祉有償運送事業運転者講習を修了し、新たに住民運転手登録をされた皆さんを交えた定例会。この日は、新規ドライバーさんへのユニフォームの贈呈と、事業主旨を再共有しました。また、利用者増加、新たに登録する車両の操作確認を行いました。(R2.7.21/オアシス早島)



わが町の暮らしの応援カフェ

応援団員や専門職等約20名の参加があった今回のカフェでは、南岡山医療センターから講師をお招きし、活動中の新型コロナウイルス対策を学びました。コロナ禍でも休みなく続く生活支援活動ですが、ご利用者と活動者双方の感染予防に努めながら活動を続けていきます。(R2.8.7/オアシス早島)



給食ボランティア連絡協議会

町内8地区でひとり暮らしの高齢者や障がい者へ会食の場を提供する給食ボランティアグループから21名が参加。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、今年度の4月以降休止してきたボランティア活動の再開方法について協議。今後の活動についての方針をまとめました。(R2.8.21/オアシス早島)



ふなもと荒神塾

町内23カ所で行われている100歳体操が6月から活動を再開しています。オアシス早島では、舟本地区をはじめ、3団体が活動しています。換気を十分にしながら、地域の方向士が顔を合わせながら体操を行えることはご自身の励みにもなるようです。(R2.9.4/オアシス早島)